



ジオパーク通信

洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会だより

第 15 号

洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会

(洞爺湖町役場ジオパーク推進課内)

TEL (0142) 74-3015

ジオパーク通信では、各回にわけて、それぞれの町のジオサイト（ジオパークのみどころ）について紹介しています。今回は伊達市に注目！

伊達市には、縄文時代の遺跡の他にも、洞爺湖有珠山ジオパークの中で最も古い岩石や、洞爺湖ができたときに積もった火山灰や軽石を観察できるポイントがたくさんあるよ！



【三階滝】（さんがいだき）

伊達市大滝区

北海道地質百選のひとつになっている「三階滝」は、長流川の支流である三階滝川にある落差約 16m の滝です。ここでは、洞爺湖有珠山ジオパークで最も古い岩石が見られます。約 2,700 万年前の花崗閃緑岩(かこうせんりょくがん)です。マグマが地下でゆっくり冷えて固まったもので、大理石のようにつぶつぶの組織が集まってできています。このあたりで大地が隆起し、水的作用で地表に現れたと考えられます。駐車場や散策路も整備されているので、新緑や紅葉の時期には多くの人でにぎわいます。



【洞爺火砕流堆積物】（とうやかさいりゅうたいせきぶつ）

伊達市上館山町

国道 453 号線を通って伊達市街地へ向かう途中、長流川を渡り伊達トンネルを通りますが、トンネル入口の右手の川岸に白い崖が見えます。

この崖は約 11 万年前に洞爺湖ができたときに流れ出した火砕流が積もったもの。大量の火山灰や軽石等でできているので遠くからは白い崖に見えます。はじめは平らな台地だったと思われますが、川の流れによって少しずつ削られて、現在のような崖となりました。



【バチラー夫妻記念教会堂】

伊達市向有珠町

1937 年、アイヌの人々の生活向上のために尽力したイギリス人宣教師ジョン・バチラー夫妻を記念して建てられた教会堂です。有珠山の溶岩を建材に利用し、アイヌの人々にカムイタッコブ（神の丘）として守られてきた場所に建てられており、土地の成り立ち、アイヌ民族とキリスト教会の関わりを学べるところです。

4月～10月の土曜日、礼拝のある日には見学可能ですが、現役の教会堂ですので見学はお静かにお願いします。